

7・27住民討論会(最終回)

田舎の人間の暮らし方

原発を脱する大きなきっかけに

休憩のあとパネリストがフロアーからの以下の質問と要望に答えました。エネルギーの地産地消の動きに圧力はないか。脱原発を市町の主要政策に掲げないのか。脱原発の首長会への要望。パーフェクトな避難計画をつくり政府を

追いつめては。立地自治体の経済・生活をどうするのか。山林利用に取り組めないのか。避難者の受け入れ体制を。最後に、井戸弁護士が「今後に向けた決意をお話しいただきたい」と3首長にマイクを振りました。以下3人の発言です。



手を合わせ命の営み
自然の恵みに感謝

平尾道雄 米原市長
「ご飯を食べるとき、手を合わせて「いただきます」と言う。これを英語で「レッツイート」と直訳する人がいるのですが、それは私たちの思いとは違いますね。手を合わせて食べ物に向き合って、命の営み、自然の恵みに感謝する。これを日

本人のくらし方、田舎の人間のくらし方として表に打ち出す出す価値がある。時代の流れの中で、安いエネルギーに比重をかけるのではなく、高くても尊い命を育ていくために、再生可能エネルギーで頑張る。
食べ物にしても「中国の鶏」問題のように、遠ければ遠いほど目が届かなくなる。誰がどんな風に食料をつくるの分からない。
これとは違う、手を合わせて本当に感謝が出来る食べ物。くらしの中で培ってきた日本人の食文化。あるいは自然との折り合いのつけ方。互いに分け合い寄り合う暮らし方、これは日本人が将来に引き継ぐべき本来の姿ではないか。これを大事にすることが原発を脱していく大きなきっかけにもなる。
損か得かではなく、慎ましいけれど尊い生き方を。本当の満足とか幸せが得られる、豊かな社会をつくって

参加者より 元気が出ました

各首長のエネルギーあふれるコメントに元気が出ました。本当に人間の力の及ばない原発の事故処理と廃棄物処理をの当たりにして、言葉がありません。脱原発を積極的に訴えていきたいと思えます。もっとマスコミを利大く取り上げてもらえるような取り組みにしていきたいと思います。(嶋中さん)



いきたい。(大きな拍手)

時代の変化を科学的にみんなのものに

藤澤直広 日野町長

「原発は危ない」と言った学者がいた。そういう人が少数派で大学でも出世できなかった時代から、「3・11」という厳しい状況を踏まえて日本全体が「もう原発をなくす方がええ



やないか」という風にならな
てきた。その流れを科学的
にも明らかにし、みんなの
ものにするのが大事だ。
私、土地改良の理事長と
して「びわ湖から水をくみ
上げる電気料が上がってい
る」ので国会議員に「何と
か頼む」と言ったら、「藤
沢さん、あんた原発をどう
思っているんよ」と言われ
た。「それとこれとは違う
やろう」。「原発で安い電
力が手に入る」と言うが、
科学的に最終処理が出来な
いものは間違っている。
「地球の奥深くに埋めたら
ええやないか」と言うが、
壊れたら誰がどうい風にな

直しに行くのか。

脱原発の運動の広がりの中
で、もう一度、原発政策
の問題点・非合理性をしつ
かりと学習し輪を広げる。
そのために、首長として努
力したい。(大きな拍手)

早く廃炉にとりかかり

地元の町おこしを

村西俊雄 前愛荘町長

日本が「集団的自衛権」
で海外で参戦すると言うけ
ど、日本は戦争できる国で
はない。私が一番心配する
のは北朝鮮のミサイル。ど
んなにどんくさい北朝鮮の
ミサイルでも、50機ある日
本の原発に打ち込むことく
らいは朝飯前だ。その意味
でも、原発はウィークポイ
ントを持っている。日本は
平和の方向にすすんで欲し
い。

123年前、1891年
の濃尾地震はマグニチュー
ド8だと言われる。その地
震は断層も残っているが、
日本最大の内陸型地震と言

われている。また、105
年前の姉川大地震では、余
震のために住民は1ヶ月間
藪の中で住まわれた。しか
も、そのとき伊吹山の斜面
が崩れて山がはがれた。そ
れから100年位が経って
エネルギーが溜まり、もう
そろそろ次の地震が来ても
おかしくない。この辺りは、
日本列島のくびれで大地震
地帯だ。天正の時代の大地
震も記録にある。

敦賀の原発は、こんな大
きな地震の経験はない。震
度6以上の経験はない。こ
のような大地震が想定され
ているのか。安全基準とか
言うけど、何が起るのか分
からない。非常に心配だ。

私は、早く廃炉の道筋を
付けて、それにとりかかる
べきだと思う。廃炉には、
作るときよりもたくさんのお
金と時間がかかる。一機
当たり何十億円で何十年も
かかる。敦賀には原発が14
機もあるから100年くら
いはかかるだろう。膨大な
資金と資材と労働者が要る。



消費も生まれ大きな金が動
く。地元への原発交付金は
付かないが、大きな町おこ
しが出来ると思う。

法廷の判断、素晴らしい
福井地裁の判断が今後も続
くかどうか。司法の判断は
世論、大きな時代の潮流・
トレンドに左右されると思
う。大きな世論に沿う判決
が出てきた。「原発なくせ」
の世論は8割と言われる。
私たちは住民の皆さんと共
に、その雰囲気をもっと広
げて99%まで持つていく必
要がある。(大きな拍手)

参加者より 3首長から安心と勇気

3首長のお話をお聞きし少し安心と勇気を
いただきました。何故他の首長は沈黙する
のかと改めて不信を感じました。また、周
辺市町議会も同様です。地方議員に公開質
問状を出し、公開するのはどうですか？。署
名運動に協力しましたが、世論調査と比較
してあまりに反応が悪いので疲れますね。
(馬場さん)

コーディネーター

井戸謙一弁護士

国が国民を守ろうとしな
い。函館市の訴えが大きな
希望を与えている。これか
らは地方自治体が国に反撃
し国を変えていく時代だ。
脱原発の首長会の会員に、
滋賀の方が3人もおられる。
京都が1人、奈良が1人、
大阪は0人だから滋賀県が
一番多い。今日3人のお話
を聞いて、大変心強い思い
がした。これからは是非頑
張っていたきたい。(大き
な拍手続く)